【開通3ヶ月後】日本海東北自動車道

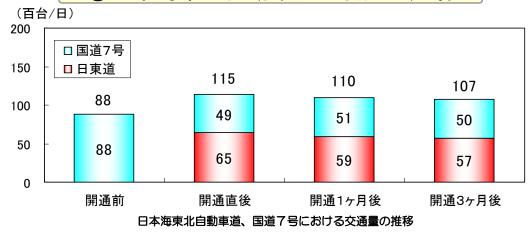
あつみ温泉IC~鶴岡JCTが 開通して

(平成24年 3月24日開通)

- ①日本海東北自動車道の利用が定着
- ②あつみ温泉でGW期間中の観光客が増加
- ③あつみ地区からの救急搬送時間が短縮
- ④物流ルートの変更による輸送頻度の増加



①日本海東北自動車道の利用が定着





■並行する国道7号の交通量が減少

開通前

国道7号 : 8,800台/日

事 速:-



開通3ヶ月後

国道7号 : 5,000台/日

高 速:5.700台/日

事業期間 : 平成9年度~平成23年度

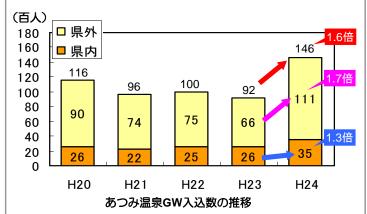
延 長 : 25.8km

幅 員: 12.0m(暫定2車)

②あつみ温泉でGW期間中の 観光客が大幅に増加

【観光活性化】

OGWの観光客が前年比で1.6倍に増加





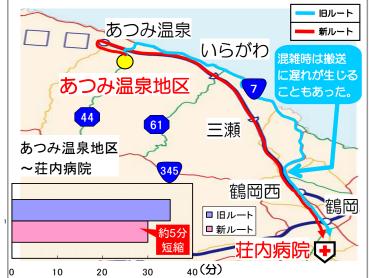
○誘客圏域の拡大等の効果も実感

- ・4月には、例年より多くの団体バスツ アー客が訪れました。
- ・酒田方面から訪れる日帰り客も増加 し、飲食店の利用者数が増えました。 (あつみ観光協会ヒアリング結果より)

③あつみ地区からの 救急搬送時間が短縮

【救急搬送の改善】

〇あつみ温泉地区~荘内病院までの 救急搬送ルート変更例



あつみ温泉地区における搬送時間の変化(ヒアリング結果より)

○患者の安定搬送にも貢献

・日東道は路面の状態が良く、急カー ブも無いことから、振動による傷病者 の身体的負担が軽減され、搬送中の 救急処置も施しやすくなりました。 (温海分署ヒアリング結果より)

・日曜、祭日のなど、地元の医院が休診のとき、早く(鶴岡の)病院に行けるので有り難い。 (地元の声より)

④物流ルートの変更による 輸送頻度の増加

【物流効率化】

OA社における山形県酒田市〜新潟県村上市の物資輸送ルート変更例



〇輸送頻度の増加

・山形県酒田市〜新潟県村上市の物 資輸送頻度が、一日あたり2回から4 回に増加しました。

(A社ヒアリング結果より)

○通勤時間が短縮

・あつみ方面から通勤していますが、 5~10分<mark>通勤時間が短縮</mark>され、朝の 忙しい時間帯の短縮は有り難い。

(通勤者の声より)